

無印良品

駅の時計・電波ウォークロック

取扱説明書

- お買い上げありがとうございました。
- ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ正しくお使いください。
- この取扱説明書を必ず保管してください。

付属品  
単3マンガン乾電池 2個  
木ネジ 1個  
スタンド 1個  
取扱説明書（本書） 1部

保証書付

保証書

製品名 駅の時計・電波ウォークロック

お買上年月日

お客様 お名前

お客様 ご住所

TEL

販売店印

上記項目が未記入の場合は無効です。〔保証期間〕お買い上げ日より1年以内

■保証について

通常のお取扱いで万一機械故障が生じた場合、保証期間中に下記までの保証書を添えてお申し出下されは無償にて修理・調整いたします。ただし、次の場合は保証期間内でも有償修理となりますのでご了承下さい。（ご使用の際はこの説明書を必ずお読み下さい。）

- 誤ったご使用による故障、またはお取扱いの不注意による故障
  - 不適当な修理や改造による故障
  - 火災または天災による故障
  - ご使用中に生じる外観上の変化（本体、ガラスの傷など）
  - 本保証書のご提示がない場合（電池は保証の対象外です。）
- また修理の際、外観の違う代替品を使用させていただくこともありますのでご了承ください。

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社 良品計画

〒170-8424 東京都豊島区東池袋4-26-3

お客様室 電話：フリーダイヤル ☎ 0120-14-6404

平日 10:00～21:00

土・日・祝 10:00～18:00

製造元 セイコークロック株式会社

必ずお守りください。安全上のご注意 ▶

⚠ 警 告

＜アルカリ電池について＞

- (1) ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水洗いし、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医の治を受けてください。

＜梱包用ポリ袋について＞

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

⚠ 注 意

＜掛け方について＞

時計は確実に掛けてください。  
落下により、けがおよび器物を破壊する恐れがあります。  
掛ける場所、壁の材質・構造をご確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。ご使用の際は掛け具に同梱の案内文も必ずお読みください。  
記載以外の取付面の場合は、建築メーカー等へご相談ください。

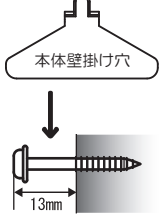
※掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右そして手前に軽く動かし、正しく掛かっていることを確認してください。

木の厚い壁・木の柱に掛けるとき

添付の木ねじをご使用ください。

石膏ボード・コンクリート等、上記以外の壁・柱に掛けるとき

添付の掛け具は使用しないでください。  
市販の掛け具をご使用ください。



⚠ 注 意

＜時計の設置場所について＞

落下や転倒により、けがおよび器物を破壊する恐れがありますので、液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

⚠ 注 意

＜電池について＞

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- (1) ⊕ ⊖ を正しく入れてください。
- (2) 製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはすしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (3) この電池は充電式ではないので充電すると液もれ、破壊のおそれがあります。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
- (5) 直射日光・高温・高温の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。
- (6) 時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。
- (7) 添付の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

必ずお読みになってからご使用ください。 使用場所・お手入れ ▶

使用場所について

下記のような場所では使わないでください。

機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。

- 温度が＋50℃（50度）以上になる所や直射日光のあたる所。例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が－10℃（氷点下10度）以下になる所。（プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。）
- 塵、埃の多い所。  
（空気中に舞い上がったごみが電車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。）
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。  
（磁気の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まることがあります。）
- 浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や 加湿器の蒸気が直接あたるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など多くの油を使用する所。  
（霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まる場合があります。）
- ビニール系素材の壁や敷物等の上。  
壁や敷物および時計を汚したり傷めることがあります。
- 木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が腐むことがあります。また、40度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガレが起きる場合があります。



暑い場所（＋50℃以上）



寒い場所（－10℃以下）



振動の激しい場所



湿気の多い場所

お手入れについて

長くご愛顧いただくために、2・3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

- ペンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。
  - 金銀製の時計の場合
  - よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾拭きしてください。
- ※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。

故障かな？と思ったときには ▶

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

| 症 状         | 考えられる原因  | 処 置  |
|-------------|--|--|
| 針が動かない      | ・電池が入っていない。<br>・電池が正しい向きで入っていない。<br>・電池端子および接片の表面を拭いてください。また、電池を入れて2～3回まわしてください。<br>・静電気などによりマイコンが誤作動している。<br>・強制受信中または時刻修正中である。 | ・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。<br>・電池端子および接片の表面を拭いてください。また、電池を入れて2～3回まわしてください。<br>・リセットボタンを押してください。<br>・受信終了後、通常の運針に戻ります。 |
| 針が不規則に動く    | ・強制受信中または時刻修正中である。   | ・受信終了後、通常の運針に戻ります。   |
| スイッチ操作が効かない | ・受信に成功し、時刻修正中である。<br>・リセット後、受信動作中である。  | ・時刻修正動作が終了してから、再度スイッチ操作をしてください。<br>・「電波クロックについて」をお読みになり、再度受信させてください。   |
| 時刻が合っていない   | ・受信が成功していない<br>・電池が古くなっている。<br>・きちんとリセットされていない。  | ・「電波クロックについて」をお読みになり、再度受信させてください。<br>・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。<br>・確実にリセットボタンを押してください。                               |

電波クロックについて

■電波時計／電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは

情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2ヶ所）からおおむね1000km～1200kmです。この製品は40kHz（東・福島送信所）、60kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。

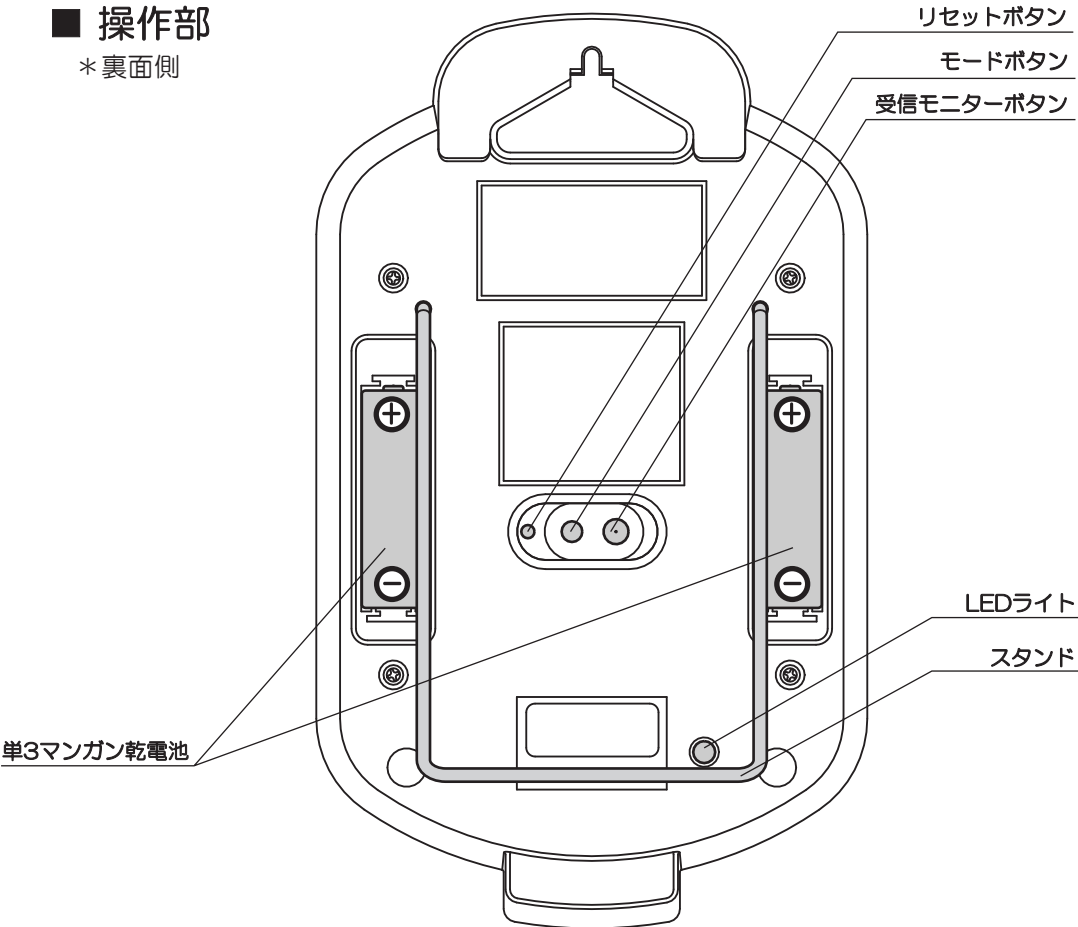
■ご注意

- 電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できないことがあります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。
- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、情報通信研究機構 日本標準時プロジェクトのホームページをご覧ください。（ホームページアドレス <http://jy.nict.go.jp>）
- 使用場所について  
本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。
  - ビルの中、ビルの谷間、地下。
  - 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
  - テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
  - 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
  - 乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
  - その他電波ノイズを発生させるものの近く。
  - スチール机等の金属製の家具の上や近く。



■ 操作部

\*裏面側



■ ご使用方法

1. 電池を入れる

（単3マンガン乾電池 2個）

- ① 電池を入れてください。  
⊕ ⊖ をまちがえないように注意してください。
  - ② リセットボタンを押してください。（ボールペンの先などで押してください。）  
※リセットボタンの位置は「■操作部」を参照してください  
しばらくして、時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止し、受信を開始します。  
（1:50、3:10、5:50、6:10、8:30、9:10、11:10、12:10）  
注）電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。
  - ③ 本機を使用したい場所に掛けてください。この際、窓際などできるだけ受信しやすい場所に掛けてください。
    - 受信中はLEDライトが信号に応じて点灯します。  
点滅中：受信状態の良好な周波数を選択しています。  
点灯中：選択した周波数で時刻情報を受信しています。
- ※受信開始後最初の約2秒間は必ず赤色のLEDライトが点灯します。  
受信中は、LEDライトの色によって【表：1】のように受信状態を示します。（最長約20分間）

【表：1】

| LEDライトの状態         | 受 信 状 態               |
|-------------------|-----------------------|
| 緑色が連続点灯           | 電波状態が良く受信可能           |
| 緑色が連続点灯し、たまに赤色点灯  | 電波状態が比較的良く受信成功の可能性がある |
| 赤色と緑色が同じくらいの割合で点灯 | 電波状態が悪く受信成功の可能性が低い    |
| 赤色が連続点灯し、たまに緑色点灯  | 電波状態が悪く受信成功の可能性が非常に低い |
| 赤色が連続点灯           | 電波状態が悪く受信不可能          |

- 受信に成功した場合  
LEDライトが消灯し、自動的に時分針を現在時刻に合わせます。その後「0秒」に合わせて針が動き出します。
- 受信できなかった場合  
LEDライトが消灯します。  
このとき時分針の時刻修正は行いません。下記「2. 時刻の合わせかた」の方法にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。

2. 時刻の合わせかた

- 2.1 電波を強制的に受信して時刻を合わせる  
受信モニターボタンを約2秒以上押し続けると受信を開始します。受信に要する時間は、最長約20分間です。
    - 受信中は、LEDライトが信号に応じて点灯します。  
【表：1】参照
- ※ 受信中は運針が停止することがあります。

- 受信ができない場合は、場所を変えてもう一度受信させてください。詳しくは「電波クロックについて」をお読みください。  
また、1日の内で夜間のほうが昼間にくらべて比較的信受状態が良くなりますので、受信できなかった場合でも一晝夜掛けることにより受信できる場合があります。
- ※受信できなかった場合、針は元の時刻に戻ります。

2.2 手動で時刻を合わせる

標準電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。

- ① モードボタンを6秒以上押します。
- ② 受信モニターボタンを一回押すと、分針を1分づつ送り、押し続けるとボタンを離すまで、送り続けます。
- ③ モードボタンを押すと同時に、針が動き出します。

3. 自動受信

- ① 毎日8回、自動で受信を行ないます。（自動受信時、LEDライトは点灯しません。）
- ② 受信に成功すると現在表示している時刻を修正します。  
※受信中（最長約20分間）は不規則な動きをすることがあります。
- 分針：約30秒毎に運針

4. 受信結果を見る

通常運針中に受信モニターボタンを1回押す（2秒以下）と前回の受信結果を表示します。

- 24時間以内に受信できた場合は“緑”が点滅します。
- 24時間以内に1度も受信できなかった場合は“赤”が点滅します。

■ ご注意

- この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。
- 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

5. 電波受信を止める

この時計には下記手順により、電波受信を止める機能があります。（誤受信の防止や、設定時刻をずらすにお使いになりたい場合等にご使用ください）

- ① リセットボタンを押してください。（ボールペンの先などで押してください。）
  - ② モードボタンと受信モニターボタンを同時に押しながら、リセットボタンを一度押してください。
  - ③ LEDライトの“赤”“緑”が5回同時に点滅したらモードボタンと受信モニターボタンを放してください。  
※LEDライトが点滅しない場合や“緑”のライトしか点滅しない場合は再度リセットボタンを押し、再度②から操作してください。
  - ④ 時分針が動き出します。動きが停止してから、「2.2 手動で時刻を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。
- この機能を設定した後も受信モニターボタンを2秒以上押すと強制受信を開始しますが、その後自動的に受信はしません。
  - この機能を解除するには、リセットボタンを押してください。

■ スタンドのご使用方法

スタンドをご使用になる際は図をご参照ください。

